

坂井市公共施設個別施設計画改訂（案）に対するパブリックコメント実施結果について

1. 案件 坂井市公共施設個別施設計画改訂（案）

2. 意見募集期間 令和8年1月21日（水）から令和8年2月4日（水）まで

3. 意見提出件数

(1) 提出者数 1人

(2) 提出意見数 1件

4. 寄せられた意見と坂井市の考え方

No	意見の内容	市の考え方
1	<p>全体を通してみて、人口減に伴い坂井市が保有管理する公共施設を減少させてゆくとする方向性はやむをえないでしょう。しかし、『大規模災害発生時に被災者を受け入れることができるのか』という判断材料が欠けているように思います。新たに災害時対応の指標を作ってみてはどうでしょうか。</p> <p>また、公園トイレを廃止する方向性が示されていますが、極力更新していくのが望ましいと考えます。</p> <p>理由は①健康志向の向上により、ウォーキング・ランニングを行う人口の増加 ②高齢者が徒歩で買い物に出かけることが増えている。③大規模災害時のトイレ利用など。</p> <p>トイレ更新に多大なコストがかかると思いますので、災害に強く比較的安価に設置可能なプレハブトイレなどの活用も良いかもしれません。</p>	<p>1. 大規模災害時の受入れ体制について</p> <p>大規模災害が発生した際に、被災者を受け入れる体制が確保されているのかというご指摘につきましては、市としても重要な視点であると受け止めており、本計画においても各施設の避難所指定の有無について整理しております。</p> <p>ただし、すべての公共施設が避難所として機能するわけではなく、必要に応じて、旅館・ホテル等の民間施設を一時的に避難所として借り上げるなど、多様な避難先を確保していくことが必要となっています。また、近年は在宅避難や親戚宅等への分散避難も推奨されており、避難のあり方が多様化しています。そのため、公共施設の再編・削減と災害時の避難対応力は、必ずしも直接結びつくものではありません。</p> <p>防災対策については、指定避難所の適切な配置や機能強化、運営体制の充実等により、必要な受入れ体制を確保してまいります。</p> <p>ご提案のありました、災害時対応に関する指標の考え方につきましては、建物の安全性と避難所としての活用の両面から、今後の検討を進めていく際の参考とさせていただきます。</p> <p>2. 公園トイレの見直しについて</p> <p>公園トイレについて、日常的な利用に加え、高齢者の外出時の利便性や大規模災害時の利用といった役割があるとのことご意見につきましては、重</p>

		<p>要な視点であると考えております。</p> <p>本計画では、公園トイレについて廃止も含めた見直しの方向性を示しておりますが、地域の皆様のご意見を踏まえながら検討してまいります。</p> <p>併せて、ご提案のありました災害時にも活用可能なプレハブ型トイレ等についても、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
--	--	--